

咬筋力の診査・診断ツール

# 表面筋電計「MyOnyx」

「歯科医院に1台は必須では」との声を導入先からいただいている」と最近評判になっているのは、PRSS.Japan(本社・東京都中央区、伊藤成幸社長)の噛み締める力を数値化する表面筋電計「ホルター筋電計付刺激装置MyOnyx(マイオニクス)」だ。視診や触診、CT画像の所見から「咬合力が強い」と患者に伝えても自覚してもらったことが難しく、放置され歯や補綴物の破折を招いてしまうケースが後を絶たない。しかし、同装置ではパッチを頬に貼るだけで左右の咬筋活動電位の最大値を数値で示すので、強い咬合力があるとの自覚につながり、その後の治療に理解を得られやすいという。装置の使い方、適応する症状、利用者の声などを同社歯科営業部長の松尾大輔氏に聞いた。



「神経・筋検査判断料」は同一月一回に限り180点となります。

「咬筋力の数値化」による利用者からの声

- 噛み合わせの調整にも使える
- 当院の保険算定の患者さんは、ほぼ全員が測定に同意。夜中にはさらに強い噛み締めがあるのを納得してもらえた
- 咬合力に左右差のある場合でも指導がしやすくなった
- これまで術者は手指感覚に頼っていたため、客観的な判断材料がなかったが、測定値が明示されることで、院内での情報共有が容易になった
- 過度な咬合力があるとの自覚につながり、マウスピース作成の依頼につながった
- ブラキシズムの強さを提示できるので歯科衛生士も説明しやすくなった
- 所見ではボツリヌス治療の効果は出ているが患者さんが効果を実感できない場合があり、導入後は実感できなくても数値で確認することができるため、信憑性が高まった
- 筋力の低い患者さんに不要なボツリヌスの投与をしなくて済むようになった

## 貼付後20秒で解析

「マイオニクスの概要と使い方」を教えてください。

松尾 表面筋電計は、筋肉の収縮と弛緩のサイクルの間にかかる筋肉の電気的活動をリアルタイムに測定するもので、非侵襲性です。マイオニクスは、筋電計を約40年開発しているカナダのソートテクノロジ社が神経内科、リハビリテーション科、泌尿器科向けのモデルを今回初めて歯科向けに改良したもので、咬筋などの皮膚に電極を貼付して測定します。

リアルタイムで波形が表示されます。プリンターと連動すれば波形や測定値をその場で印刷して患者さんに手渡すことも可能です。本体はスマートフォンサイズなのでチェアサイドで測定

「神経・筋検査判断料」は同一月一回に限り180点となります。「ブラキシズム」「咀嚼筋の筋膜痛」「歯牙破折」「補綴物の破損や脱離」「知覚過敏」「歯牙の動揺」など有害事象の診査・診断の際にも強い咬合力があることを数値からも自覚してもらうことで、保険治療である「補綴物やマウスピースの作成」「認知行動療法」「筋機能療法」「薬物療法」から「ボツリヌス療法」といった自費治療への理解

「数値や波形は視覚的に理解しやすく説得力が増して、自費治療(特にボツリヌス治療)率が上がった」など表の声をいただいています。マイオニクスが歯科用医療機器として使われたのは日本が初めてで、臨床研究を基にした論文を今後発表予定です。国内で販売を始めるきっかけとなった、古畑歯科医院・古畑いびき睡眠呼吸障害研究所(東京都港区)・日本歯科大学附属病院内科臨床准教授の古畑梓先生のご協力の下、性別、BMIなどにも異なりますが、概ね望ましい咬筋活動電位の基準値は100

## 咬合の強さを数値化

## 患者の自覚につなげる

使用ですが、患者さんの種類の咬筋の最大隆起部にパッチを貼り、パッチ上の突起に本体とつながる専用ケーブル端の電極をつなげば準備は完了です。測定時間「5秒噛み締めて休憩」を2回繰り返すだけで、全体で20秒程度です。

測定値は本体の他に、アンドロイド端末の専用アプリ上に、

「利用者からはどのような声がありますか。」

松尾 「顎関節症」や「咀嚼筋痛障害」の診査・診断に用いると、保険算定が可能です。「筋肉図」は1肢につき320点、

「左右の咬合力の差を同時に示せるので、入れ歯の装着につながり患者さんのQOL(生活の質)が向上した」「歯科衛生士も説明しやすくなり、症状を改善するための治療を積極

器として使われたのは日本が初めてで、臨床研究を基にした論文を今後発表予定です。国内で販売を始めるきっかけとなった、古畑歯科医院・古畑いびき睡眠呼吸障害研究所(東京都港区)・日本歯科大学附属病院内科臨床准教授の古畑梓先生のご協力の下、性別、BMIなどにも異なりますが、概ね望ましい咬筋活動電位の基準値は100

当社がマイオニクスの取り扱いを決めたのは先生方の「患者さんに歯を守るための治療を提案しても、自覚が難しいために放置され、結果的に歯や補綴物の破折につながってしまった」という声の多さからでした。発売から約1年5カ月ですが、既に329施設で導入されました。



④咬筋の皮膚表上に電極を貼付して測定

⑤咬筋力測定時の波形、左右の咬筋活動電位の最大値などを1枚のレポートとして表示でき、印刷も可能

医療機器認証番号:304AGBZX00045000



初回導入セット(本体、専用ケーブル、専用パッチ、AC充電アダプターなど)の価格1145万1千円(税込み)※別途アンドロイド端末タブレットが必要



20秒間の測定動画

問い合わせ先 PRSS.Japan  
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10-11 日本橋府川ビル6F  
03(3667)7252